茨城県立日立第一高等学校ラグビー部

日立一高ラグビー部ＯＢ会　会報

○ 新ＯＢ会長あいさつ

第２代会長　吉　田　尚　一　（第９回卒）

新年明けましておめでとうございます。この度、図らずも第２代目ＯＢ会長の重責を担うこととなりました。多くの諸先輩がおられる中、私のような未熟者で誠に僭越でありますが、この重責を果たすべく、努力して参りたいと考えております。

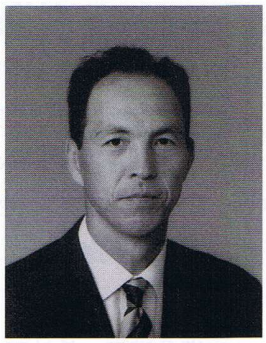
平成１８年には創部６０周年を迎えますが、６０年の長い年月を数多くのＯＢが献身的に熱心に現役の指導をされてきたことが、今日迄続いており、まさにこのことが日立一高ラグビーの良き伝統となってきたと思います。

この伝統をこれから先も長く継続すべく、新しい役員で議論し「やれるものからやろう」ということで進めて参ることにいたしました。役員会を中心にして、現役の支援サポート、ＯＢ会員の交流親睦、会報の作成、６０周年記念事業の推進等々鋭意努力して参りたいと考えております。

何卒、約６００名のラグビー部ＯＢの皆様の御協力、御支援を切にお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

○ 監督あいさつ

第５代監督　吉　沢　和　彦　（第３２回卒）



新年明けましておめでとうございます。

この度、吉田新会長をはじめＯＢ会の組織、スタッフが一新されました。今までにも増して、ラグビー部の活動を組織的にバックアップしていただける態勢が整い、何より心強い次第であります。

現在ラグビー部は、十分な活動が出来ている状態とはいいがたく、人数的にも、実力的にも、また目標に向かう姿勢等、まだまだ県内の上位をねらうチームとしては不十分であるのが現状です。

ＯＢ会の新体制スタートを契機として、ラグビー部に対する理解とバックアップ態勢がますます深まる中、現役、ＯＢ、父母等々の結束をより強固なものとして、再び強豪校として復活できるよう部員ともども精一杯努力するつもりでおりますので、今後ともＯＢ諸氏の御協力をよろしくお願いいたします。

○ 役員改選の経過及び新役員紹介

平成１５年１１月の衆議院議員総選挙へのＯＢ岡部英明氏（第２９回卒）の立候補に伴い、１０月に行ったＯＢ有志による支援体制等についての学年幹事による協議の席で、内山光志（第５回卒）幹事長から健康上の理由により辞意が表明されました。

後日、内山幹事長及び大友敏勝監事（第８回卒）が鈴木清介会長（第１回卒）宅を訪問し相談したところ、鈴木会長自身も体調不良につき、この機会に役員体制を刷新してはどうかとの結論に至りました。

そこで、平成１６年２月、岩路善充（第１回卒）・田山次郎（第２回卒）両副会長に鈴木会長・内山幹事長の辞意を伝え、役員改選についての了承を得た上で、３月１９日（金）ＯＢ会役員会を開催して正副会長を改選し、新体制のもと以下のとおり新役員を選任しました。

なお、併せてＯＢ会規約を一部改正し、従来の各学年幹事とは別に世代ごとに「幹事」若干人を置き、ＯＢ会の円滑な運営を図ることとしました。なお「幹事」と従来の「学年幹事」との重複は妨げません。

【新役員一覧】※（　）内は卒業回次

会　長：吉田　尚一（９）
副会長：尾又　篤（１４）、村山功（２０）
幹事長：近藤　雅年（１０）
幹　事：佐藤　馨（１１）、松永　啓（１８）、武藤　達也（２３）
黒沢　祐士（２８）、深谷　充志（３２）、柴田　和則（３５）
関　稔一（３５）、菊池　敬（３９）、本田　浩一（４３）
金澤　勉（４５）
監　事：山本　宏（２９）、笠井　知洋（３７）
事務局長：木下　俊雄（３２）

○　平成１６年度の現役チームの戦績

新人大会には日立一高単独として３年ぶりに出場することができた。前年の全国大会予選にも１・２年生のチーム編成で臨みベスト８まで進出したため期待されたが、３回戦で中央高に敗退した。

【新人大会】

１回戦　日立一（９１－０）緑岡　２回戦　日立一（５９－０）下館工業　３回戦　日立一（２２－５９）中央

関東大会予選に向け課題が明らかになり、体力・技術両面でのレベルアップが必要だと生徒たちも痛切に感じ練習に励む日々が続いた。春休みも、磐城高、勿来工、安積高などと練習試合を重ね課題克服に取り組んだ。

迎えた関東大会予選１、２回戦と順調に勝ち進みシード校のつくば秀英高と対戦。随所で好プレーを見せるもすべての面で相手が上回り完敗。しかし今年度は茨城開催にあたり出場枠が５校となり５位決定戦に出場する。しかしながら惜しくも勝田工業の前に敗れる。後半途中までは拮抗していたが最後に走り負けした。怪我で大内主将、新堀副将、BK の中心選手の松崎を欠きながらも最後まであきらめず戦い、好ゲームであった。

【関東大会予選】

２回戦　日立一（３８－５）下館工業　３回戦　日立一（６７－１５）土浦一
準々決勝　日立一（０－７９）つくば秀英　５位決定　日立一（１２－２９）勝田工業

続く県民総体ではまたも中央高の前に苦汁を味わう。優勢にゲームを進めながらなかなか得点を奪えず、ターンオーバーによる失点を重ねてしまった。

【県民総体】

２回戦　日立一（５５－７）茎崎　３回戦　日立一（０－２２）中央

例年通りここで３年生は引退となるが、根本慎吾、根本敬宏の２人が菅平合宿に参加。最後の大会に向け勉強との両立を実践する。２人に刺激され予選には３年生が７名参加。チームに活気が戻るも走力不足は否めず藤代紫水高に惜敗。

【全国大会予選】

１回戦　日立一（８８－０）茨城東　２回戦　日立一（１６－２０）藤代紫水

平成１６年度のチームは、３年生１１名２年生８名で数年ぶりに練習、練習試合、公式戦等十分ではないが活動することができた。しかしながら経験不足がありもう少しラグビーをできる時間があればという気持ちが大きかった。

（監督：吉沢　和彦）

○ 当面のＯＢ会活動方針

従来のやり方を見直し、ＯＢ会の目的である会員相互の交流・親睦、現役への支援をするには、皆が参加できる活動方針として着実に推進することで活性化を図って参ります。

1　当面の活動目標

少子化による定員減、進学化による女子比率の増大、ラグビー人気の落ち込み等で部員確保もままならない現実を直視し、現役ラグビー部が再起して、県でベスト４に入れるようＯＢ会が支援活動を行い、それを通じＯＢ会会員の交流・親睦を図ります。

2　活動施策

施策単位に役員の役割分担を決め、責任をもって円滑に推進します。

1）役員会の定例化　：　５月、１１月に開催

2）学年幹事会の定例化　：　６月に開催

3）ＯＢ会報の定期発行　：　５月、１２月に発行、会員全員に配布

4）ＯＢ会名簿の整理　：　会報配布他会員への連絡の為、年１回学年幹事を通じ調査・整理

5）現役の指導　：　ＯＢ会の中からコーチ陣を選び、日常・合宿・大会前に先生の指示のもと指導の支援を行う。

6）交流・応援　：　蹴初め、合宿、試合の時等に多くのＯＢ会員が参加して現役とそしてＯＢ会員相互の交流・親睦そして現役の応援をする。

3　ＯＢ会の財政

今迄は活動が停滞していた事もあり、創立記念事業、全国大会出場時の寄付金の残額で活動費は賄ってきました。これからは活動を活発化することで今迄よりはお金が多く掛ることになります。さて工面はどうするかを来年に予定している６０周年記念事業時に皆さんに御提案し決めることにします。―当年ごとの会費制又は募金制の導入など。

○ 創部６０周年記念事業

昭和２１年に県内初として、日立一高ラグビー部が創立して来年で６０周年を迎えることになります。前回の５０周年記念事業は半世紀の区切りとして大々的に行われましたが、今回はその後１０年経過した６０周年記念事業として、こじんまりやる事を計画しております。

1　実施日　　平成１８年６月第３土曜日

2　事業内容

1）祝う会の開催　：　記念式典はやらず、外部来賓を入れずＯＢ会員だけで会費制で行う。

2）６０周年記念小史の発刊　：　ＯＢ会員の寄付金で作成、寄付して頂いたＯＢに配布

3）記念試合の実施　：　現役・若手中心、対戦相手は別途決める。

4）現役への寄付　：　予算との関係で別途決める。

5）寄付金集め　：　当６０周年記念事業に掛る費用、向後７０周年に向かってのＯＢ会運営費の一部に充てる為の寄付金を集める。

以上、事業内容、前段の会費制又は募金制の導入等に関しては、４月頃の学年幹事会にて審議の上決めることにします。推進に当たり、ＯＢ各位の御支援・御協力をお願いいたします。

○ １月３日（月）の蹴り初めに参加して

平成１７年１月３日（月）新年のスタートにふさわしい青空の下、恒例の日立一高ラグビー部「蹴り初め」が日立一高グラウンドで行なわれました。近年の部員不足で蹴り初めが実施できない時期もありましたが、やはり年の初めに先輩・後輩と顔を合わせてラグビーができることは幸せなことだと思います。

午前９時３０分に現役部員・ＯＢが集合し、吉田尚一新ＯＢ会長と吉沢和彦監督から新年のごあいさつをいただきました。吉田ＯＢ会長からは平成１８年度の創部６０周年に向けて新体制で諸事業に臨むこと、吉沢監督からは新チームでがんばるという話がありました。

参加したＯＢは創部間もない頃の大先輩や学生まで約６０人。中には家族と一緒に参加している若手ＯＢもいて、グラウンドの隣で小さい子供がラグビーボールで遊んでいる光景がとてもほほえましく感じられました。

ＯＢのチーム分けが終わったあとはウォーミングアップもそこそこに（アップでバテてしまわないように？）現役との試合が始まりました。試合開始後は、ＯＢのテクニックが現役を上回り、ＯＢがトライを重ねていきました。後半は現役もＯＢの体の大きさやスピードにも慣れてきたようで何本かトライを返し、観戦に訪れていた関係者や家族の歓声が大きくなりました。（中には現役より元気な超ＯＢもいらっしゃり、そのかたがボールを持つと歓声がひときわ大きくなりました。）

現役生はこのＯＢ戦から何かひとつでも学んで欲しいと思います。それは技術でも、駆け引きでも何でもいいと思います。ＯＢは現役に期待しているからこそ、毎年忙しい中ＯＢ戦に来てくれているわけですから、現役はその期待に応えるために少しでも努力して欲しいです。（努力することが、自分の周りでサポートしてくれる人への恩返しになります。）

ＯＢ戦の最後に、父母の皆さんが用意してくれた温かい豚汁とおにぎりをいただきました。寒空のもと、創部間も無い頃の大先輩からラグビーを始めたばかりの高校１年生が一同に集い、一年の幕開けにふさわしく楽しい１日となりました。

その後は各年代ごとに夜の町へ繰り出して、ラグビー談義に花を咲かせたようです…。

（幹事：金澤　勉）

○ 編集後記

会報の発行は過去３回あり、今までは組織立った形ではなく、事務局（木下）が奔走し発行しておりましたが、新役員の方針により、組織立って発行することとなり、年２回位の発行を考え、とにかく継続させるものをということで、実質第１号の発行をすることができました。

原稿等の御協力をいただいた皆様方に、深く感謝いたします。

さて、先日の蹴り初めの際、校舎の入口にラグビー部への勧誘の小さなメッセージポスターがありました。【一緒に青春の１ページを・・・】というものでしたが、生徒達のやる気をプレー以外でも感じました。

これからも、応援やら親睦やらと企画もありますので、会報を通じて更にＯＢ会の輪を広げていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

（幹事・会報担当代表：松永　啓）

＊日立一高ラグビー部ＯＢ会報　第４号＊
発行責任者：幹 事 長　近藤　雅年（昭和３３年　第１０回卒）
編　集　者：担当幹事　松永　啓　（昭和４１年　第１８回卒）　深谷　充志（昭和５５年　第３２回卒）
柴田　和則（昭和５８年　第３５回卒）　関　稔一　（昭和５８年　第３５回卒）
笠井　知洋（昭和６０年　第３７回卒）　菊池　敬　（昭和６２年　第３９回卒）
本田　浩一（平成　３年　第４３回卒）　金澤　勉　（平成　５年　第４５回卒）
事　務　局：〒３１７－００６５　茨城県日立市助川町３－７－４　木下俊雄気付
【電話】０２９４－２１－４８９０（ＦＡＸ同じ）